

CHARLIE MCCREEVY

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Former European Commissioner for Internal Market and Services from 2004–10



Charlie McCreevyは、2004年から2010年にかけて、内部市場およびサービス担当の欧州委員を務めました。彼はヨーロッパの金融システム、銀行システムを統制する規制、そしてEU全体の金融サービスにおける単一市場の発展を監督する上で重要な役割を果たしました。

現在のユーロ圏の経済危機からEUの将来、そして欧州の金融サービス部門が直面する課題まで、アイルランドの経済とヨーロッパに関連する問題について、経験豊富で活気に満ちた、時には率直な評論家としての評判を得ています。

1977年の最初の選挙からFianna Fáil TDとしてアイルランドの政治生活に積極的に参加し、2004年にアイルランドの欧州委員に就任するまではKildareおよび後のKildare Northで席を開いた。その後の政府では、社会福祉大臣（1992年 - 93年）、観光貿易大臣（1993年 - 94年）、フロントベンチスポークスパー財政担当（1995年 - 97年）、そして財務大臣（1997年 - 2004年）を務めました。

財務大臣としての任期中、彼は税制を簡素化するために多くの変更を担当し、欧州連合の経済通貨同盟へのアイルランドの参入、そしてその後のユーロへの転換を統括しました。彼の在職期間は、低い法人税率を背景に、アイルランドの経済が急速に成長した時期と一致していました。多額の外国投資雇用者、政府および組合の間の社会的パートナーシップ。そして欧州共同体の加盟国 - それはインフラ開発のための支払いと単一市場への輸出アクセスを提供した。この国は「Celtic Tiger」と呼ばれるようになりDellやMicrosoftなどの国際企業からの投資を集めました。彼は在職期間中に大幅な黒字を維持し、同時に減税プログラム、保健、教育、年金支出の大幅な増加、そしてインフラ開発への投資をGNPの5%まで増加させました。その結果、失業率は10%から4.4%に低下した。

欧州委員会の委員を辞任した後、McCreevyは2011年に非常勤取締役として英国最大のスポーツ用品小売業者Sports Directの取締役会に加わりました。彼はRyanair予算航空会社の取締役も務めています。2010年からRyanairのディレクターを務めています。

Topics

- Economics
- Leadership
- Politics
- Risk
- Science
- Technology